

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



会長挨拶

三條南ロータリークラブ会長

星野 健司

皆様こんにちは。

本日のお客様、一般社団法人 燕三条青年会議所 2015 年度理事長の石黒良行様、後ほど卓話をよろしくお願いいたします。

また、三條北ロータリークラブの本田芳久様、福岡信行様が 30 周年記念式典の件でおいでになられています。後ほど存分に PR なさって下さい。

さて一昨日、「第2回東京さんじょう交流会」が東京の浅草ビューホテルで開催され、三條商工会議所の実行委員として出席して参りました。

参加者は東京三條会 25 名、東京側高校同窓会 15 名、東京側一般参加者 14 名、大学生 7 名、三條商工会議所及び栄・下田商工会 37 名、三條側高校同窓会 10 名、三條市役所 13 名、総勢 122 名の出席者でした。

第 1 部のプレゼンテーションでは、國定三條市長の素晴らしい三條市の現況説明の後、昨年より下田の荒沢地区に移り住んだ 3 名の U ターン・I ターンされた三條市地域おこし協力隊の若者による事業報告があり、その後、東京三條会の事業報告と三條市へのいろいろな要望が提案されました。

第 2 部の交流会は、三條八幡宮の藤崎宮司による笛の演奏で始まり、斎藤会頭の歓迎挨拶の後、懇親会が始まり、名刺交換をしながら東京側の方と話をしますと、三條市出身者だけあって、中学・高校など共通話題が多く、本当に懐かしそうに話をされ、とても楽しい懇親会でした。

最後に全員で「ふるさと」を合唱し、感傷のない雰囲気ですべて終了となりました。行くまで不安でした今回の交流会ですが、予想以上に楽しく有意義でしたので、出来たら来年も参加したいと思います。

出席率

会員52名中37名

先々週の出席率

83.67% (2 / 8)

ゲスト

一般社団法人 燕三条青年会議所 2015年度理事長 石黒良行様

ヴィジター

三條北RCより 福岡信行君 本田芳久君

先週のメークアップ

2/18 加茂RCへ 内藤豊大君 野崎正明君 佐々木常行君 吉井正孝君
吉沢栄一君

ロータリー財団セミナー（新潟）へ 田代徳太郎君 長谷川直哉君

四つのテスト

一言行はこれに照らしてからー

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



ー2015-16 年度国際ロータリーのテーマー

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン [スリランカ]
第2560地区ガバナー 山本和則 [新潟南]
第4分区ガバナー補佐 鳥部文雄 [燕]
会長 星野健司
幹事 齋藤嘉一
S A A 銅冶康之

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

齋藤 嘉一 幹事

三条北ロータリークラブより 「市内4RC次年度会長幹事会」開催のご案内

[日 時] 2016年 3月 15日 (火) 18:00～ [会 場] 三条ロイヤルホテル

三条ライオンズクラブより 「市内7クラブ現・次年度会長幹事会」開催のご案内

[日 時] 2016年 4月 13日 (水) 18:30～ [会 場] 日本料理 小山屋

三条市青少年健全育成ネットワークセンターより 「ミニ講演会及び意見・情報交換会」開催のご案内

[日 時] 2016年 3月 19日 (土) 13:30～

[会 場] 三条ものづくり学校 多目的ホール

[内 容] 第一部 「家庭・地域のきずな」に関する標語・手紙表彰式

第二部 講演 認定NPO法人新潟NPO協会 理事・事務局長

ワークショップデザイナー 石本 貴之 様

「欲しい未来を創る。大人も子どもも主役になれる三条市を目指して」

ようこそ三条南へ



三条北RC 創立30周年副実行委員長 福岡 信行 様 本田 芳久 様

創立30周年記念式典

感謝の集い

ご案内

私ども三条北ロータリークラブは1986年(昭和62年)5月30日、三条ロータリークラブをスポンサークラブとしてRI加盟以来、ここに30周年を迎える事となりました。これもひとえに皆様の御指導と御支援のたまものと心から感謝申し上げます。

つきましては、ささやかではございますが、記念式典及び祝賀会を開催いたします。ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、ぜひともご来臨の栄を賜りますようお願い申し上げます。

記念式典

開催日時 | 2016年 4月 16日 (土)

●登録受付 10:30～11:30 (宗偏流茶席の接待&ドリンクタイム)

●記念式典 11:30～13:00

●休憩 13:00～13:20 (ドリンク&軽食タイム)

●祝賀会 13:20～15:30 (15:00頃よりお楽しみ「大抽選会」)

式典会場 | ジオ・ワールドVIP グランドホール

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 2月22日 16,000円
今年度累計 416,570円 ～

三条北RC
福岡 様
本田 様

北クラブは、お陰様で30周年を迎えます。皆様 よろしくお祈いします。

星野 君

燕三条青年会議所の直前理事長の石黒良行様、本日は、卓話 よろしくお祈いいたします。

齋藤 君

燕三条青年会議所 理事長 石黒良行様、ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお祈いいたします。

丸山(征)君

先週金曜日、三条市共同募金委員会の会議に出席してきました。ボランティア活動なのに、それも30分程の会議で、“足代¥2,000”頂きましたので。

長谷川君

本日の卓話、石黒良行君 よろしくお祈いします。同時に入会もお待ちしております。

銅冶君

石黒良行様、本日の卓話 よろしくお祈いします。

荒澤君

ようこそ、燕三条JC石黒直前理事長。本日はよろしくお祈いいたします。

木村君

石黒さん、卓話よろしくお祈いします。石黒さん、卓話楽しみにしております。

佐々木君

松崎BOX担当に協力して！

田代君、西巻君、渡辺(俊)君、渡邊(光)君

BOXに協力いたします。

松崎君

BOXご協力ありがとうございました。

「市民の翼事業 映画『ともに担げば』」

一般社団法人 燕三条青年会議所
2015 年度理事長
石黒 良行 様



こんにちは。本日はお招きいただき、ありがとうございます。燕三条青年会議所の石黒良行と申します。本日は、映画を製作した市民の翼事業について、お話しさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

そして、市民の翼事業にご協賛いただきました皆様、ご支援いただき、ありがとうございました。また、三条南ロータリークラブさんから後援いただきました。ありがとうございました。

—・—・— 予告編上映 —・—・—

少子高齢化と若者の流出により、人口減少が問題となる中、人が減り続ける社会だからこそ、市民一人ひとりが手を取り合い、共にまちをつくっていく、協働のまちづくりを推進しなければならないのだと考えます。

市民一人の大きな一歩より、100 人の小さな一歩が、大きな力となるのではないのでしょうか。

スケジュール

- 1 1 月 鶴岡監督に依頼
- 1 2 月～4 月 脚本作成
- 3 月 2 日 記者会見
- 3 月～9 月 協力依頼、協賛活動
- 4 月 出演者募集
- 5 月～7 月 ボランティア募集
- 5 月 3 1 日 出演者オーディション
- 6 月 7 日 記者会見
- 7 月 1 8 日 「ともに担げば」撮影
- ～8 月 1 日
- 8 月～9 月 編集作業
- 1 0 月 1 0 日 イオンシネマで上映
- 1 0 月 1 7 日 燕市文化会館で上映
- 1 0 月 1 8 日 三条市中央公民館で上映
- 1 0 月 2 1 日～ ミニ上映会の開催
- 3 月～ 映画祭への出品

監督



- ・ 鶴岡慧子(つるおかけいこ)
- ・ 1988年生まれ(27歳(当時))
- ・ 世界最大級の自主映画コンペで2冠を獲得



2014 年の 11 月から動きだし、2015 年の 10 月までに完成させて発表。そのようなスケジュールで制作しました。

鶴岡慧子監督。世界最大級の自主映画コンペティション「PFF（ぴあフィルムフェスティバル）アワード」において 522 作品の頂点となるグランプリに加え、ジェムストーン賞（日活賞）の 2 冠を獲得、若手映画監督の中で最も注目されている監督の一人です。

映画制作 記者会見 JCI



映画を製作するという記者会見です。協働のまちづくりの推進ですので、青年会議所が青年会議所だけの力で制作する、独りよがりな映画ではダメなんです。どれだけ多くの市民を巻き込めるか、まちをあげて制作する市民映画でなければならないので。市民の参加が必要不可欠でした。

そして、青年会議所の発信だけでは限界がある中、市民の関心を引くためにも、メディアに取り上げてもらえるようにメディア戦略を展開しました。映画という今までにない、インパクトのある事業ですので、新聞、テレビ、ラジオ、生活情報誌などのメディアに取り上げていただきました。

新潟県、三条市、燕市、弥彦村の行政を始め、商工会議所、商工会、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、テレビ局、ラジオ局、新聞社、アルビレックス新潟など、50 の団体や企業から後援をいただきました。また、協賛については本日の会場であります三条信用金庫様やコロナ様、江部松商事様、遠藤商事様などを始め 170 社からご支援をいただきました。

協賛活動や協力依頼活動を行っていた頃は、毎日のように企業や団体に訪問していたことを思い出します。

出演者、ボランティア募集



148人が応募

350人が協力



出演者募集ですが、核となる主役の4名はプロの俳優さんに依頼しましたが、主役を取り巻くサブキャストについては三条市、燕市、弥彦村の市民の皆様から募集しました。

募集チラシを三条市、燕市、弥彦村の小学校、中学校、高等学校に配布と、三條新聞とまるごと県央での広告を出しました。結果、小学生から80歳まで幅広い年代の皆様から148通の応募がありました。

また、撮影の手伝いやエキストラ出演など、ボランティアとして協力してもらえる市民の皆様を募集しまして、映画の撮影期間中で350人ほどの皆様から協力していただきました。

サブキャストに応募してくれた全員のオーディションを開催し、自己PR、台本セリフ読み上げによる演技審査、質疑を行い、鶴岡監督により選考を行いました。サブキャストに小学生、中学生を多用することで、保護者や親戚、友人知人からの関心が高まり口コミでの注目度向上を狙いました。

そして、出演者が決まった記者会見です。

出演者発表 記者会見



ボランティアワークショップ



映画という今までにない手法と、市民が主体的に参加することがインパクトを与え、多くのメディアに取り上げていただけました。

ボランティアワークショップと題しまして、ボランティアで撮影のお手伝いをしていただける市民の皆様と撮影のプロとで、ワークショップを開催しました。

撮影



撮影



撮影



そして、いよいよ撮影です。この写真(左)は、マルト長谷川工作所さんでの撮影です。左下の女性は、ボランティアで協力していただいた方です。(写真中央)左上のシーンは、燕1,000人みこし実行委員会を始め、商工会議所と商工会の青年部、三条エコノミークラブに青年同士のつながりを活かして、150名ほどのエキストラに参加していただき撮影した、クライマックスのシーンです。

(写真右)三条市の國定市長、燕市の鈴木市長、弥彦村の小林村長を始め、多くの市民の皆様にもエキストラとして協力していただきました。

右は新潟日報さんに取り上げていただいた写真。左側は、ポスター制作写真です。

撮影



先ほどの予告編でも流れましたが、「あいのわ」という主題歌を制作し、三条市、燕市の幼稚園、保育園に配布し、応募をいただいた園で合唱している様子を撮影しました。その動画を編集し主題歌とリンクさせエンディングロールの際に流しました。21の幼稚園、保育園に協力していただき、760名もの園児に合唱していただきました。

メディアミックスによる発信



映画の制作そのものだけではなく、市民の関心を引き、映画制作を盛り上げるためにも、広報には力を入れました。Uxで特集を組んでいただいたり、市長、村長に表敬訪問を行ったりして、話題作りに力を入れました。マルシェに出店していたら、日経新聞に取り上げられたり。新聞に載ることで、テレビ出演の依頼がきたり、メディアに取り上げられる良い循環ができたのかと思います。

上映会 舞台挨拶



10月10日に開催した上映会の様子です。舞台挨拶を行うことで、どのような想いで映画「ともに担げば」が制作されたのか伝わり、市民の関心とメディアの関心を引けたと思います。

出演者と来場者の感想です。

「燕市、三条市の発信ができる。」
「良い映画だった。都会にいる新潟の人にみせたい。」
「ほっこりした気持ちになった。やっぱり地元は良い。」
等のありがたい感想をいただきました。

ミニ上映会



高齢者施設

企業、団体

幼稚園、保育園

ミニ上映会も開催しております。

お年寄りの施設や幼稚園、保育園、企業、団体など、お声掛けいただければ映画の上映セットを持参して上映しますので、気兼ねなくお声掛けください。ぜひ皆様の会社や町内会などで上映していただきたいと思います。

そして、今までに映画「ともに担げば」に関わっていただいた人数です。

協賛していただいた企業は、170社。

出演者、エキストラ、ボランティアなど協力いただいた皆様が1,800人。

映画を見ていただいた皆様が記載の通りで、12月現在で合計4,500人程の市民の皆様に関わっていただけました。

今後の展開ですが、これからもミニ上映会を継続して行います。2月10日現在で11か所を予定しております。

また、映画祭への出品を行いました。

大阪アジア映画祭に出品した結果、入選しましたので3月7日と10日に公開されます。

世界初上映となっております。

この映画に新たな価値をつけるためにも、今後も映画祭への出品は続けていきます。

関わった人数

・ 協賛企業	170社
・ サブキャスト、ボランティア	1,800名
・ 上映会（イオンシネマ）	1,760名
・ 上映会（燕市文化会館）	360名
・ 上映会（三条市中央公民館）	300名
・ ミニ上映会	280名
・ 合計（12月現在）	4,500名

今後の展開



- ・ ミニ上映会 11か所を予定（2月10日現在）

- ・ 映画祭への挑戦（大阪アジア映画祭 入選）



そして、

総務省より、一般社団法人デジタルメディア協会の主催するデジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤーのリージョナル賞に推薦していただけることになりました。リージョナル賞とは、地域に根差した作品の中で、最も優れていると認められる作品です。

デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤーへの協賛企業は、バンダイナムコ、DMM、KADOKAWA（角川書店）、任天堂、スクウェア・エニックス、NTTドコモ、ディー・エヌ・エー（DeNA）、野村証券、大和証券など大企業ばかりですので、大きな表彰式になるのではと思います。

結びに、市民一人ひとりが手を取り合い、共にまちをつくっていく、協働のまちづくりを推進するためにも、今後多くの皆様に映画「ともに担げば」をみていただくことで、手を取り合うことの大切さ、一歩踏み出すことの大切さを感じていただきたいと思いますので、全国規模の映画祭で県内外に発信し、ミニ上映会で地元の皆様に発信し続けていきます。

ROTARY NEWS



Rotary



ロータリー財団100周年を祝う

管理委員長が次期ガバナーを鼓舞

ロータリー財団のレイ・クリンギンスミス管理委員長は19日、米国サンディエゴで開催中の国際協議会で次年度ガバナーに向けて講演し、財団の100周年となる2016-17年度に祝賀行事を開催するよう呼びかけました。

ガバナーは「財団と世界34,000のロータリークラブの橋渡し役」と管理委員長。「100周年祝賀行事の成功は皆さんの手にかかっています。この特別な年度に思いを寄せ、財団の達成を祝うことの重要性を会員に伝えてください」と述べました。



1917年以來、多くの人びとを支援しているロータリー財団。「世界でよいこと」をしてきた財団100年の歴史をビデオをご覧ください。

1917年の創設以来、世界中の何百万という人びとの生活をより良くするために30億ドル以上を提供してきたロータリー財団の100周年は、5月の韓国での国際大会に正式に開始となり、2017年のアトランタ国際大会でクライマックスを迎えます。

地区での取り組み

第5100地区（米国オレゴン州）ガバナーエレクトのトム・ジェームス・マルコスさんは、地区内の会員に100周年について伝えるとともに、地元メディアを通じて情報を発信していく計画を立てています。ロータリーの歴史の節目となる年度にガバナーを務めることを誇りに感じていると言うマルコスさん。「一般の人にロータリー財団のこ

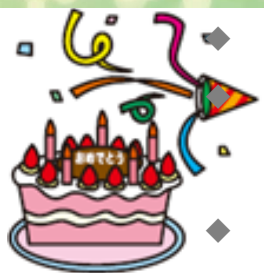
れまでの功績を知ってもらう必要がある」とし、次年度には地区で100万ドルの寄付目標を掲げています。

100周年は、財団活動の重要性を会員にあらためて伝え、さらに積極的に活動してもらう機会であると話すのは、第7080地区（カナダ、オンタリオ州）ガバナーエレクトのビル・プロクターさんです。「財団が成し遂げてきた多くの功績を祝う100周年行事によって、財団の未来に向けた勢いが増すでしょう」

記事: Ryan Hyland ロータリーニュース 22-Jan-2016

誕生日

3月のお祝い



◆ 会員誕生	2日	谷 晴夫君	25日	齋藤嘉一君
◆ 夫人誕生	4日	田代恵美子（徳太郎）さん	5日	平松貴子（修之）さん
	18日	広岡頼子（豊樹）さん	28日	田口美代子（信行）さん
	29日	田中礼子（康之）さん	31日	西巻富紗（克郎）さん
◆ 結婚記念	3日	長谷美津明君・美加さん	18日	広岡豊樹君・頼子さん
	21日	木村 譲君・久美子さん	21日	坪井正康君・恭子さん
	28日	渡邊光郎君・ノリさん		

おめでとうございます

我等の生業



野水 孝男

（昭和15年 4月11日生まれ）

1993年 3月入会

職業分類

事業所名

事業所住所

事業所TEL

事業所FAX

事業所e-mail

HP URL

鑄造品製造

三條金属株式会社

三条市福島新田乙1208

0256-45-5141

0256-45-2066

info@skk.to

http://www.skk.to/

三條金属 株式会社

三條金属株式会社

Cast Technology.

Sanio Kinzoku Co., Ltd.



技術力は企業力になる。

鑄鉄には、終わりのない可能性があります。
高度な技術力で鑄鉄の新たな可能性を追及し続けています。

三条南ロータリークラブ週報

2016. 2.22

No.2190 No.26